

令和六年度

國學院大學

文学塾

夏期オンデマンド配信

※過去に実施した文学塾の授業録画を
夏休み期間限定で配信いたします



國學院大學文学塾とは：

高校生のための新たな学びの場です。
伝統ある國學院大學文学部ならではの
専門性の高い内容で、
知的好奇心の強い皆さんの期待に応えます。
学問の最先端を、ぜひ体験してください。

【日本文学科】

- ◆ 光源氏はなぜ顔を隠すのか？
- ◆ 日本語って……

【史学科】

- ◆ サハリン・樺太の歴史は
どのようなように語られてきたのか
- ◆ 土器から考える古墳時代

【中国文学科】

- ◆ 唐詩と「故郷」

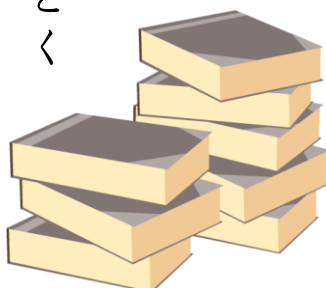


【外国語文化学科】

- ◆ ジャネット・ランキンの生涯

【哲学科】

- ◆ 哲学は絵画のごとく



視聴無料

WEB事前申し込み制 申込締切日：7月31日（水）

※講座内容および申込方法は、大学ホームページをご覧ください。



【お問い合わせ先】國學院大學文学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL：03(5466)4813 E-mail: bun_siryo@kokugakuin.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

●全7講義が無料で視聴可能です。皆様のお申込みをお待ちしています！●

光源氏はなぜ顔を隠すのか？

—『源氏物語』「夕顔」巻の解釈をめぐって—

竹内正彦 教授・専門分野:日本中古文学

『源氏物語』は多くの人びとによって読み解かれ、解釈が更新されてきましたが、今なお解釈が揺れている部分があります。たとえば、「夕顔」巻で光源氏は夕顔という女性のもとに顔を隠して通っていきますが、その際に光源氏は覆面をしていたのかどうかという問題は現在も解決されていません。本講座では、それぞれの解釈を吟味しながらこの問題について検討し、そもそも光源氏はなぜ顔を隠さなければならなかったのかを考えます。

唐詩と「故郷」

—白居易の場合—

澤崎久和 教授・専門分野:中国古典文学[唐代]

唐代の詩には、他郷にある詩人が故郷や都長安への望郷の念を詠う作が多く見られます。唐詩における主要テーマの一つといってよいでしょう。ところが、唐代中頃の白居易の詩には、「身心の安らぐところこそわが故郷だ、都ばかりが帰るべき地ではない」といった、従来の詩には見られない表現が何度も登場します。白居易にとっての「故郷」とはどんなところであったのか、その故郷観の特色や後世への影響について検討してみたいと思います。

サハリン・樺太の歴史は どのように語られてきたのか

—歴史学における語りと視点

神長英輔 教授・専門分野:東北アジア近現代史、日露交流史

20世紀の前半、日本とロシア（ソ連）の人々は日露戦争と日ソ戦争（第二次世界大戦）を戦いました。サハリン島（樺太）はいずれの戦争でも戦場となり、戦後に島をめぐる国境線が引き直されました。日露両国にはサハリン・樺太の歴史についてのさまざまな語り（narrative）があります。この講義は、歴史学における語りと視点の意味を考えながらそれらの語りを比較・検証し、日本における日露関係史の常識を問い直す試みです。



日本語って……

菊地康人 教授・専門分野:現代日本語、日本語教育学

毎日使っている日本語について考える機会はありません。外国人の日本語学習者にとっては、日本語は「?」「!」です。また日本人でも、日本語をじっくり考える機会を持つと、なかなか難しくもあり、おもしろい面も見えてきます（それを掘り下げる学問が「日本語学」です）。ここでは、「日本語って、どんな特徴のある言葉なの?」「外国人が驚いたり難しく感じたりするのは、例えばどんなこと?」といった話題を取り上げて、皆さんにとって新鮮な日本語の世界に案内します。

ジャネット・ランキンの生涯

—戦争・平和・ジェンダー

浅井理恵子 教授・専門分野:アメリカ史

本講義では、アメリカ合衆国史上初の女性連邦下院議員となったジャネット・ランキン（1880～1973）の生涯を振り返ります。地元モンタナ州で女性参政権運動に参加し、女性として初めて連邦下院議員に選出されたランキンは、アメリカの第1次世界大戦参戦に反対票を投じ、それ以降、平和運動に邁進しました。ランキンの活動と思想は現代においてどのような意味を持つのか、皆さんとともに考えてみたいと思います。

土器から考える古墳時代

青木 敬 教授・専門分野:日本考古学[古墳時代・古代]

教科書で学んだ知識だけでは、古墳時代の具体的な時代像を思い描くことは難しいかもしれません。時代像をあきらかにするには、当時の人びとの息吹を伝える史資料を丹念に観察・判読することが不可欠です。今回は、長野県安曇野市穂高古墳群で出土した土器という考古資料を観察し、抽出できる情報を整理します。整理した情報をふまえ、そこからどのような古墳時代像を描くことが可能なのか、皆さんとともに考えたいと思います。



哲学は絵画のごとく

—ルネサンス人文主義再考

岡本源太 教授・専門分野:美学、哲学、芸術学

ヨーロッパで多彩な芸術が新しく花開いたルネサンス。この時代、哲学もまた「人文主義」（ヒューマニズム）の名のもとに、人間と世界についての新たな理解をもたらしました。しかもルネサンスの「万能人」たちが象徴するように、このとき哲学は芸術と分かちがたく結びついていました。この講義では、ルネサンスの哲学者たちの言葉と芸術家たちの絵画を照らし合わせながら、そこに描き出された新しい人間観と世界観を見ていきます。

【 配信期間 令和6年8月5日(月)～8月30日(金) 】